

情報表現基礎 1・演習 課題通信 【Fクラス】

2000・11・02

新課題・開始日

*各自「らせん」
「まきこむ形」を
テーマにしたモチ
ーフを収集し、持
参すること。
B,B 2の鉛筆
カッターを準備

2000・11・02

2000・11・16

2000・11・30

2000・12・07

新課題・開始日

2000・12・14

2000・12・21

2001・01・11

新課題・開始日

2001・01・18

2001・01・25

2000・02・01

2000・02・08

全体講評会？

2000・11・02

今日の流れ

1/「作品カタログ」と「作品新聞」をアトリエのガラス面に全員で掲示します。

2/クロッキーブックを用いて、各自が持参した「かたち」を様々な角度から描き、モチーフ特有の形態的な特徴を見つけます。

3/次週の本格的なドローイングの為に、B2版の木製パネルに画用紙を水張りします。
水張りの方法については、デモンストレーションします。

パネルの枠上面の画用紙部分に各自の名前学籍番号を記入することを忘れないように。

- 鉛筆とカッターを用いること
- 形を面や塊として理解すること
- 二次元に立体物らしく表現するには陰影法が有効
- 立体物らしく表現するには構図を考えること
- 四角の紙は仮想の空間 レイアウトによって印象が大きく変わる

■ポートフォリオを共有の知的財産にするために
follyが展示されてから、下記のような事も含めた様々なリフレクションがあった。「電子掲示板のような仕組みがあったら口頭で発表するのは異なった有益な「知識や論議」の蓄積や共有をおこなえる、という提案があった。現在、これを実現する仕組みを、WEB上に置く事を試みている。

展示をすること

展示する場所の大事さ

作品をテーマに誰かとコミュニケーションしてみた

そこでは、どんな応答がおこなわれたのか

作りながらどんな事を考えたか

作りながら、変わった事、変えたこと

何故、変わったんだろう

近くで作っていた人たちとの会話

自分で本や資料、情報ライブラリやインターネット

の世界に行ってみたりしただろうか？

語ってください、、、何を？

リフレクションは反省会ではないらしい

■各自のポートフォリオにFollyを！

今回の作品を、どのようにポートフォリオに入れるのだろう？「作品新聞」や「作品カタログ」を作ること
でテキストの原型を作ることができた。作品を示すには、ドローイングだけで十分だろうか？

前回提案したが、写真を用いた簡易なカタログを制作したり、HP化することも考えられる。

